



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス  
コード番号 6074 URL <https://www.jss-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 06-6449-6121

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,981	3.1	74	1.0	80	7.6	52	14.2
2023年3月期第1四半期	1,921	6.3	75	30.9	74	32.2	45	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	13.51	
2023年3月期第1四半期	11.83	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,546		2,678		40.9	
2023年3月期	6,997		2,649		37.9	

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 2,678百万円 2023年3月期 2,649百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		6.00		6.00	12.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		7.25		7.25	14.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,616	6.7	447	5.2	446	3.8	278	18.5	72.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	4,026,056 株	2023年3月期	4,026,056 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	158,403 株	2023年3月期	158,403 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	3,867,653 株	2023年3月期1Q	3,867,653 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限や水際対策の緩和などにより、経済活動の正常化が進み、景気を持ち直しが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安による資源価格及び原材料価格の高騰、国内においては急激な物価上昇等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社は「水を通じて健康づくりに貢献する」という経営理念のもと、より多くの人に心と体の元気を届けるべく、ベビーからシニアまで幅広い層の健康促進に取り組んでまいりました。

会員動向につきましては、春の入会キャンペーンや短期教室、体験会等の施策による集客の強化を実施しましたが、原材料価格高騰等による消費の冷え込みやコロナ禍の長期化によるライフスタイルの変化等、依然当社事業への影響が拭えない状況となりました。

課外活動では、新型コロナウイルス感染症の感染症5類移行等に伴う行動制限が解除される中での旅行企画や合宿等を実施する事で収益の確保ならびに既存会員の満足度向上に努めました。

子供会員集客の施策では、2022年開設の中高生を対象としたクラス「JSS部」において、楽しく水泳に取り組むことで仲間づくりを支援する等、ストレス解消による勉強への集中力を高める事をコンセプトとし、小学校卒業を機に退会する傾向がある高学年の在籍延長と既にスイミングを卒業した元会員に対する再入会へ向けた取り組みに努めました。

大人会員集客の施策では、国内特許を取得した自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリン、水中ウォーキングプログラムを合わせたオリジナルの水中運動プログラム「バイポリン&ウォーク」について、当社事業所にて展開するほか、他社施設への販売拡大にも努めてまいりました。

発達支援事業（JSS水夢）では、JSS水夢八尾山本（大阪府八尾市）と2022年12月開設のJSS水夢北神戸（神戸市北区）の2事業所において、児童発達支援および放課後等デイサービス事業を通じ、子供達に対する個別支援を行う事で地域に貢献をしながら順調な運営を行ってまいりました。

公共施設運営受託では、当社は2023年4月より公共施設「福田屋内スポーツセンター/磐田温水プール」（静岡県磐田市）の指定管理者に選定され、両施設利用者への水泳指導のほか、高齢者の介護予防を目的とする、自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリンを合わせたオリジナルの水中運動プログラムの提供を行いました。

水泳授業受託では、全国的な学校プール施設の老朽化や指導者不足により水泳授業の民間委託が増加するなか、当社の培ってきた専門的な水泳指導のノウハウを活かした小中学校への水泳授業受託を実施しました。今後も自治体からの入札要請やインストラクター派遣依頼に積極的に対応してまいります。

人材の育成および確保では、近年人材獲得競争が激化するスイミングスクール業界において、求職者および従業員に対し、スイミングスクール運営企業で唯一の上場企業としての強みを生かした魅力ある労働環境の整備や教育環境の強化に努めました。

また、人材確保の取り組みとして、専門学校でスポーツ産業への従事を目指す学生に対し、当社事業の大人向け水中運動プログラムを体験する機会を設ける等、将来の当社就職希望者発掘に努めました。

選手強化面では、2023年4月の第99回日本選手権水泳競技大会において、難波実夢選手（JSS/近畿大学）が400m自由形で優勝、800m自由形で準優勝、200m自由形で5位、高田大志選手（JSS）が50m平泳ぎで5位となりました。

また、同年4月の翼ジャパンダイビングカップ兼国際大会派遣選手選考会において、玉井陸斗選手（JSS宝塚/須磨学園高等学校）が高飛込で優勝、荒井祭里選手（JSS宝塚/武庫川女子大学）が高飛込で優勝、同選手と板橋美波選手（JSS宝塚/滋賀県スポーツ協会）が10mシンクロナイズドで優勝、伊熊扇李選手（JSS宝塚/日本体育大学）が3m飛板飛込で4位、同選手と伊藤洸輝選手（JSS宝塚/滋賀県スポーツ協会）がシンクロナイズド10mで3位、板橋美波選手と伊藤洸輝選手がMIXシンクロ3m飛板飛込（公開競技）で優勝となりました。

日本テレビホールディングス株式会社との業務提携の状況につきましては、同社100%子会社である株式会社ティップネス（以下「ティップネス」）との協業について、両社のノウハウ・経営資源を持ち寄ることで、両社の企業価値向上に資する効果的なシナジーをさらに強力に推進するため、以下の施策を進めてまいりました。

<ティップネスとの主な協業内容>

- オンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」の提供  
ティップネスが持つオンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」を当社会員およびその家族向けに提供し、顧客満足度向上とコロナ禍における施設に頼らない収益確保策の一つとしました。
- JSSキッズファミリープラン  
両社が近隣に商圏を持つ事業所において当社子供会員の家族が割引価格でティップネスの事業所を利用出来る「JSSキッズファミリープラン」を設定し、顧客満足度向上につながるものとしました。
- 水中バイク、水中トランポリン体験会の実施  
当社開発の水中バイクおよび水中トランポリン、水中ウォーキングプログラムを合わせた、オリジナル性の高い水中運動プログラムの体験会をティップネスの事業所にて実施。ティップネス大人会員へ当社の新たな大人向けプログラムを提供する事で、当社に対する意見を収集し、更なるサービス力の向上を図り、今後の社外販売に向けた取り組みといたしました。
- 協業会議および分科会の定期開催  
当社とティップネス社との情報交換の機会として、協業会議および各業務、テーマに沿ったより細分的な会議体としての分科会を実施しております。
- その他  
商材や備品の共同購入によるコスト削減や人事採用の情報交換等、両者の強みとスケールメリットを活かした様々な分野におけるシナジー効果を生み出す取り組みを協議し、実施するとともに、更なる施策の準備を進めてまいりました。

このような営業施策の結果、当第1四半期末における全事業所の会員数は86,553人（前年同期比4.2%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,981百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益74百万円（前年同期比1.0%減）、経常利益80百万円（前年同期比7.6%増）、四半期純利益52百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ451百万円減少し、6,546百万円となりました。これは主に、現金及び預金が424百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ480百万円減少し、3,868百万円となりました。これは主に、長期借入金が119百万円、1年内返済予定の長期借入金29百万円及び賞与引当金が97百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ29百万円増加し、2,678百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益の計上等により29百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,276,996	852,733
受取手形、売掛金及び契約資産	109,310	133,451
商品	113,051	117,880
その他	85,964	93,493
貸倒引当金	△1,575	△1,847
流動資産合計	1,583,747	1,195,711
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,870,233	2,837,052
土地	1,537,640	1,537,640
その他（純額）	128,389	119,337
有形固定資産合計	4,536,263	4,494,030
無形固定資産	12,424	11,823
投資その他の資産		
敷金及び保証金	683,772	681,301
その他	203,340	185,094
貸倒引当金	△21,585	△21,002
投資その他の資産合計	865,527	845,393
固定資産合計	5,414,216	5,351,248
資産合計	6,997,964	6,546,959
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,864	207,561
1年内返済予定の長期借入金	551,352	521,976
未払法人税等	103,437	16,976
未払消費税等	269,921	116,293
前受金	530,812	564,819
賞与引当金	97,794	—
その他	621,826	564,751
流動負債合計	2,352,009	1,992,378
固定負債		
長期借入金	1,615,659	1,496,494
退職給付引当金	71,570	70,318
資産除去債務	271,293	271,971
その他	37,973	37,281
固定負債合計	1,996,496	1,876,065
負債合計	4,348,505	3,868,443
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	330,729	330,729
資本剰余金	125,665	125,665
利益剰余金	2,293,235	2,322,292
自己株式	△100,171	△100,171
株主資本合計	2,649,458	2,678,515
純資産合計	2,649,458	2,678,515
負債純資産合計	6,997,964	6,546,959

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,921,561	1,981,303
売上原価	1,616,057	1,662,351
売上総利益	305,504	318,951
販売費及び一般管理費	230,066	244,294
営業利益	75,437	74,656
営業外収益		
受取利息	129	119
貸倒引当金戻入額	—	583
助成金収入	—	4,417
受取事務手数料	571	1,346
その他	300	435
営業外収益合計	1,002	6,901
営業外費用		
支払利息	2,022	1,427
その他	1	73
営業外費用合計	2,024	1,501
経常利益	74,415	80,057
特別損失		
固定資産除却損	275	—
特別損失合計	275	—
税引前四半期純利益	74,140	80,057
法人税、住民税及び事業税	6,491	3,384
法人税等調整額	21,898	24,409
法人税等合計	28,390	27,794
四半期純利益	45,750	52,262

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。